

# 釣れ釣れなるままに

1990年思い出の釣行記

# 1990年

## 鹿島釣狂

☆釣行日	平成2年5月13日
☆入釣場所	小樽南防波堤
☆潮	満潮 02:19 17cm
	干潮 07:59 11cm
☆釣果	クロガシラ 28cm 1
	ホッケ 32cm 1

### 岩見沢に新築

美唄中央小学校6年担任。同じ学年を組んだ沢田氏、大津氏を誘って小樽南防波堤に行った。「北海道のつり」5月号に「型揃いの真ガレイ入れ食い！」との記事が載っていた。4月10日のことだから時期は違うが岩見沢に来たこともあり小樽へと0時に出発する。防波堤への入口は分かりづらかったが、平磯トンネル入口から右に折れて進んでいくと南防波堤が見え、車も十数台駐車していた。3人で防波堤先端に向かうが、先客があり20mほど戻ったところで竿を出した。途中、蛸壺のロープが入っているということで、根掛かりするが、強く煽るとほとんどが抜けてきた。

朝まずめになってからクロガシラ1、ホッケ1が釣れた。8:00頃、風が強くなってきたので竿をたたむことにした。

☆釣行日	平成2年5月25日、26日
☆入釣場所	余市港北防波堤

☆潮	干潮	22:40	-3cm
	満潮	15:17	31cm
☆天	気	晴れ	
☆エ	サ	イソメ2箱、エラコ1, ゴロ20、サンマ	
☆釣	果	ホッケ33cm以下	12
		クロガシラ	2
		真ガレイ	10
		砂ガレイ	3
		ウニ	1
		ナマコ	1

土曜休日のため、25日（金）18:00頃出発した。先日の小樽を過ぎ、余市に着いたのは20:30頃だった。北防波堤に上がりたいのだが自衛隊のゲートが閉まっていたので、まずは中央防波堤に入った。先行者があり、少し戻ったところから外海に向けて竿を出したが、ギスカジカばかりだった。北防波堤の方にキャップライトの明かりが動き、釣り人が渡っているのを確認できたので、竿をそのままにして様子を見に行くとゲートの縁を通過していくことが出来るようになっていた。随分と歩かなければならないが、釣れないよりはマシである。



2:00、上手い具合に先端部が空いていたので、そこで竿を設置した。ギスカジカのオンパレードだが、忘れた頃にホッケとカレイが来た。朝まずめの6:00~7:00に入れ食い状態になった。天気もよいので防波堤の際から下がって横になっていると、ぼかぼかと朝日が当たりぐっすりと眠り込んでしまった。9:00に目が覚め後片付けをしてから帰路についた。



☆釣行日 平成2年8月某日

☆入釣場所 送毛海岸

☆釣果 クロガシラ 1

同学年を組んだ沢田、塩見、大津氏と送毛海岸にキャンプに行った。日中は長磯岩の左で海水浴を楽しんだ。若い大津氏と共に長磯岩に渡り周辺をシュノーケリングで覗いていると、ウニは見あたらなかったタナゴが群れをなして泳いでいるのが見えた。夕方、長磯岩の左に向かって遠投を掛けたが魚からの便りはなかった。更に左の離れ岩の左に遠投を掛けるとクロガシラが釣れた。沢田氏も1枚釣った。

朝飯の準備をしていると、隣に加わったキャンパーが話し掛けてきて、石狩浜でエビやホッキを捕ったと話した。エビは葡萄エビのようだった。ホッキは胸ぐらいのところまで海に浸かりながら足先で探っていきながらとったモノらしい。更に深いところは潜っていくと穴が開いておりその穴を掘り起こすとホッキが出てくるというものだ。沢田氏がネギを持ってきていたので物々交換するという形でそのホッキをいただく事が出来た。炭火で焼くと、斧足の縁が褐色からピンク色に変わり、大変美味しくいただいた。2日目は雄冬にまで進み、岩尾川海岸でウニや日和貝をとって食べた。日和貝はキャンプに参加できなかった板井氏にお土産として持っていった。

☆釣行日	平成2年10月10日		
☆入釣場所	雄冬港		
☆釣果	アブラコ	1	
	ハゴトコ	7	
	カレイ	3	

朝6時に家族で雄冬港へと釣りに出かけた。小雨の中港に着いた。内防波堤先端で竿を出す。フグや平たいカジカ（おそらくコチだろう）が釣れる。

☆釣行日	平成2年10月13日、14日 16:00~20:00		
☆入釣場所	湯泊岬 左先端部		
☆釣果	ソイ	15	
	ホッケ	1	
	ガヤ	1	
	ハゴトコ	3	
	タナゴ（29cm以下）	8	

今年の海は本当に温かい。

ウキ釣りで上記の釣果となった。タナゴはコツコツとした小さなアタリであるが、横に走るので大変楽しかった。

